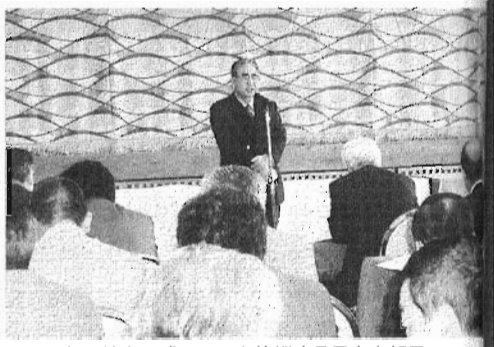
県建設業協会出水支部総会

桑木支部長再選 合議制で健全運営

県建設業協会出水支部（桑木行喜支部長）は9日、出水市のホテルキングで第41回通常総会を開き、新年度事業計画・予算などを原案通り可決した。また、出水建設業協同組合（同理事長）の第42回通常総会も開き、すべて原案通り可決したほか、任期満了に伴う役員改選では、桑木支部長・理事長を再選した。

総会では、桑木支部長が「県内の建設業界においても、公共事業の減少に伴い大手企業に会社更生法が適用されたほか、当支部では、昨年度に引き続き重大労働災害の発生がなかったのは、各位の災害防止に対する意識高揚の成果と感謝し、献身的なご支援をいただき、大過なく1年を過ごす事ができました。役員改選など慎重なる審議をお願う厳しい現実があるが、



1年の協力に感謝――と挨拶する桑木支部長
＝出水市のホテルキングで

組分を益田計助副理事長（片角産業㈱）、支部分を柏木吉明副支部長（㈱石原組）がそれぞれ支部長所感を代読して報告した。

平川猛氏（沖田産業㈱）を議長に選出しての議事では、支部・協組分の13年度決算報告、新年度収支予算・事業計画案などすべて原案通り可決し、役員改選では、選挙により理事を選出、互選によって桑木支部長・理事長を再選した。桑木支部長・理事長は「先行き不安な業界・経済情勢の中、合議制によって健全な運営を推進したい」と抱負を語った。

また、総会前に行われた表彰式では、代表者4人と従業員8人に賞状と記念品が授与された。

新役員と表彰者は次の通り。

【新役員】支部長＝桑

田建設㈱古家康博（阿久根建設㈱）▽専務理事＝田中輝男（㈱大塚建設）▽理事＝片角保成（片角産業㈱）柏木吉明（㈱石原組）柏木照志（㈲柏木産業）柿孝吉（㈱出水工務店）鶴長親雄（㈱長崎組）特手祐治（㈱福井組）大堂正剛（丸久㈱建設㈱）▽監事＝築地純人（㈲築地建設）古田義富（㈱浜畑組）田頭講治（㈱田頭

県建設コンサルタンツ協会総会

上野会長再選 事業領域の進出拡大

県建設コンサルタンツ協会（上野鴻秀会長）は9日、鹿児島市の鹿児島東急ホテルで14年度通常総会を開き、経営研究会など各種研修講習会の開催等を柱とする新年度事業計画などを決めたほか、任期満了に伴う役員改選では上野会長を再選した。

総会では冒頭、上野会長が「発注状況も下降をたどる一方で、我々を取り巻く環境は依然として厳しいものがあるが、恒

吉富庸司（㈲第一産業）大田輝美（㈱タイセイ工務店）平田照代（平田建設㈲）▽従業員の部＝渕上キミ子・野元茂（㈱井島建設）堀田哲範（㈱田頭建設）京田秀幸（㈱出水工務店）児玉孝夫・竹林正文（㈱道添建設）西田勝・大漉重典（㈱石原組）

例の技術フォーラムをはじめ、各種技術研修講習会を行い、技術の向上と研さんを重ね、事業領域への進出拡大を目指して行く必要がある。地元建設コンサルタント技術集団としての存在を強くアピールし、更なる飛躍を目指そう」と挨拶。

引き続き、西久保正人氏（㈱久永コンサルタント）を議長に選出して議案審議に移り、13年度事

新役員紹介などもあった総会
＝鹿児島市の鹿児島東急ホテルで

業計画案などを決めたほか、任期満了に伴う役員改選では、上野会長の続投と新執行部体制を決めた。

上野会長は「各社がそれぞれの分野で創意工夫し、どこにも負けない技術力をつけて、アピールしていかねばならない。会員各位の協力を頂きながら任務をまっとうして参りたい」と抱負を述べた。

新年度事業計画は、①経営研究会開催②技術研修講習会による技術力の向上④RCCM研修会の開催⑤建コンかごしまの発行・配布⑥5団体共催の新年賀詞交換会―など。

新役員は次の通り（㈱印は新任）。

会長＝上野鴻秀（㈱新

福コンサルタント㈱）安永幸信（㈱国土技術コンサルタンツ）▽理事＝川上水節（㈱建設技術コンサルタンツ）▽理事＝川上重興（㈱大亜測量設計）中西一男（㈱霧島エンジニアリング㈱）山内康功（㈱大進）塚田秀腐（㈱アジア技術コンサルタンツ）㈱岩井健（三州技術コンサルタント㈱）▽監事＝㈱堀切闊一郎（員外）堀切闊一郎税理士事務所）安永幸信（㈱国土技術コンサルタンツ）

志布志港ポートセールス推進協議会

きょう、総会

14年度志布志港ポートセールス推進協議会総会は、10日午後2時から鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで開く。

格調高い雰囲気

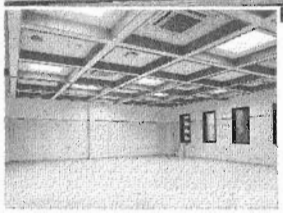
県弁護士会館

弁護士会館らしい風格を持ち、周辺の環境に調和した立ち寄りやすい建物が完成。正面施工しているため、格調高い雰囲気を持ち合わし、耐久性に優れた会館となっている。

正面中央に玄関を取り、タッチセンサー式スイングドアとすることで、スムーズな出入りを可能としている。1、2階は中廊下式とし、車椅子の移動などにも支障のないバリアフリー仕様で、十分な幅を確保している。また、PC梁を採用しており、柱のない空間を広く活用できる間取りとなっている。

このほか、2階の小会議室・中会議室は、各種委員会、相談会、打ち合わせ等の目的と人数により、使い分けができる多用途・多目的な機能を持つ。

外壁に御影石を使用し、ほか3面には、キャスト状仕上げ塗材吹付を施工しているため、格外壁に御影石を使用し、ほか3面には、キャスト状仕上げ塗材吹付をすい建物が完成。正面施工しているため、格



アートボックス

1、2階はバリアフリー仕様

▽場所＝鹿児島市易居町2－3
▽工事名＝鹿児島県弁護士会館新築
▽設計・監理＝㈱川元設計
▽施工＝津曲工業㈱
▽建物規模＝RC造4階建延べ587・04㎡

瀬戸内建設業協会総会

新会長に伊東氏選任

瀬戸内建設業協会（竹山弘会長）及び奄美建設業協会瀬戸内支部は8日、大島郡瀬戸内町の瀬戸内建設業協会会館で第38回通常総会を開き、14年度事業計画などを決めたほか、任期満了に伴う役員改選では新会長に伊東氏（㈱伊東組）を選任した。

冒頭、竹山会長が「公共工事の受注金額は、この3年間確実に減少基調にある。我々を取り巻く環境は厳しいものがあるが、これからも地域に根差した協会として建設業に誇りを持ち、町の発展に尽くしていこう」と新年度に向けての抱負を述べた。

総会では竹山会長が引き続き議長を務め、13年度事業報告・収支決算、14年度事業計画・予算案を審議した結果、原案通り可決承認した。新年度の事業計画は自主安全パトロール、関係官庁との連絡協議、産廃や捨土場所の調査実施など。また、任期満了に伴う役員改選では、新会長に伊東一宏氏、副会長に昇直隆氏（昇建設㈱）を選出した。

場所を移して開かれた懇談会の中で伊東新会長は「自分が適任か悩んだが、若い力でこの難局を乗り越えようという気持ちで引き受けた。会員の方々のご協力を得ながら協会を盛り立て、さまざまな形で地元に貢献していきたい」と力強く抱負を述べた。義永秀親瀬戸内町長、池田史和大島支庁瀬戸内事務所長の来賓祝辞のあと会員らは杯を交わし、和やかに歓談を行っていた。

新役員は次の通り。

会長＝伊東一宏（㈱伊東組）▽副会長＝昇直隆（昇建設㈱）▽理事＝久原康裕（㈱久原建設）勇健一（㈱勇建設）泰江徹（㈱泰江組）▽監事＝阿部美佐夫（㈲阿部組）藤田富士雄（㈱藤田建設）

地元に貢献していきたい――と挨拶する伊東新会長
＝瀬戸内町の瀬戸内建設業協会会館で